

【熊本SJCD例会 抄録】

演 題 インプラント補綴の選択

演者名 豊田正仰

日 付 2014年8月26日

keywords

1. フィクスチャーサイズを選択
2. スクリュー固定かセメント固定か
3. セラミック破折

抄 録

インプラント治療において、①フィクスチャーサイズを選択 ②スクリュー固定かセメント固定か、歯科医師のそれぞれの考えにおいて選択されてきた。しかし、これらは個々の患者において診断・決定されるべきで、一概にどちらがよいと決められるものではないと考える。

今回、治療途中のインプラント症例ではあるが、アンテリアガイダンスとポステリアガイダンス（顎関節）の調和が良く、歯周病の要因もなく、カリエス（パラファンクションによる歯の破折）による歯の喪失で両側の咬合支持が失われたと考えられる患者において咬合、インプラント埋入部位の診査・診断を行い、フィクスチャーサイズを選択、固定法、咬合様式について私が考えた治療方針を述べたい。

諸先生方のご指導・ご教示を頂ければ幸いです。また現段階での反省点に対するご指摘をどうぞ宜しくお願い申し上げます。